２０２１年１２月２３日
損害保険ジャパン株式会社
ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社
株式会社日立製作所

ＳＯＭＰＯと日立、ＳＸ（サステナビリティ・トランスフォーメーション）実現に向けた人的資本経営の企業支援で協業開始

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）と、株式会社日立製作所（執行役社長兼 COO：小島　啓二、以下「日立」）は、企業の価値や競争力を高める源泉となる「人財」の価値を最大限に引き出し、持続可能な企業経営を支援する新たな協業を開始します。

具体的には、企業の経営企画部門や人事部門などを対象に、ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社（取締役社長：桜井 淳一、以下「ＳＯＭＰＯリスク」）が有するリスク分析および ESG に関する知見・ノウハウと、日立の HR テック*1 を掛け合わせ、人財データの定量分析や、組織・人財に関わる経営リスクの可視化により、効果的な施策の立案・実行を支援するコンサルティングサービスの提供を開始します。本協業を通じ、企業の SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けた人的資本経営を支援し、持続可能な社会づくりに貢献します。

*1 HR テック：HR（Human Resource：人事）とテクノロジーを掛け合わせた造語で、AI やビッグデータ分析、クラウドなど先端的な IT を活用して、人財の採用・配置・育成・評価などの人事関連業務を効率的に行う手法のこと。

１．背景

新型コロナウイルス感染拡大を契機に、企業のあり方やビジネスモデル、働き方への意識が大きく変わろうとしています。テレワークが広まってきた昨今、従業員のエンゲージメントやモチベーションを維持・向上させることは、企業にとってますます重要な課題となっています。持続可能な企業経営を実現するためには、競争優位性を高め、企業価値の向上を支える原動力である「人」を重視する人的資本経営*2 を推進することが、企業に求められています。

*2 人的資本経営：人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方。

２．具体的な取り組み

日立では、従業員の生産性や配置配属のフィット感などに関する意識を定量的に可視化し、企業の人事施策の高度化を支援する「日立人財データ分析ソリューション」を２０１８年から提供しています。

このたび、ＳＯＭＰＯリスクは、日立の本ソリューションを活用し、可視化された従業員向けサーベイ結果を踏まえ、企業のビジョン策定や、従業員へのビジョン浸透に向けた効果的な施策立案などを一気通貫で支援するコンサルティングサービスを提供します。

本サービスの特徴として、従業員向けサーベイ実施前に企業の悩みやありたい姿を明確にし、コンプライアンスやダイバーシティ＆インクルージョンなどの設問も加えて企業ごとにサーベイを設計します。さらに、サーベイ結果を踏まえた具体的な施策の立案・実行支援を行い、次回サーベイ実施までの改善活動をトータルに支援します。

こうした取り組みを進めることで、企業のビジョン実現に向けて、従業員が主体的にイキイキと活躍する組織への変革を目指します。本サービスを導入いただくことにより、企業の人的資本経営を推進し、企業価値の主要な決定因子が有形資産から無形資産に移行しているなか、その無形資産の要となる人的資本の価値向上に貢献します。

＜「日立人財データ分析ソリューション」について＞

「日立人財データ分析ソリューション」は、長年にわたる、日立社内での働き方改革や人財データ分析の取り組みを通じて得た知見やノウハウを結集して開発した Lumada ソリューションです。筑波大学の学術指導のもと開発した日立独自の測定方法によるサーベイを実施し、サーベイで明らかになる個人の意識のデータをもとに、一人ひとりの強みや課題、配置配属のフィット感などを踏まえ、従業員がイキイキと活躍するための効果的な人事施策や、個に寄り添った組織変革の実行が可能となります。また、サーベイ結果から報告書を作成し、個人や組織にフィードバックし、その結果をもとにした意識改革やアクションプランの策定につなげることも可能な HR テックです。
https://www.hitachi.co.jp/ws_sol/solution/hcm/

３．今後について

ＳＯＭＰＯグループは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」というパーパスの実現を目指しています。損保ジャパンおよびＳＯＭＰＯリスクは、ソリューションプロバイダーとして社会の安心・安全・健康に資する商品・サービスを提供することで、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

日立は、持続可能な社会の実現に向けて、「社会イノベーション事業のグローバルリーダー」をめざしており、Lumada[*3] を活用したデジタルソリューションの提供を通じて、「社会価値」「環境価値」「経済価値」の向上に取り組んでいます。

損保ジャパンと日立は、これまで、AI を活用した「インフルエンザ予報」[*4] や、人の幸福度を計測するスマートフォンアプリを活用した「女性が安心して働ける社会実現」[*5] の実証を行うなど、両社の知見や技術を組み合わせ、さまざまな社会課題の解決に向けて、共同で取り組みを進めてきました。

今後も、本協業をはじめとして、様々なサービスを開発・提供し、企業のサステナビリティ経営を支援していきます。損保ジャパンはサービスデザインおよびエコシステム構築、ＳＯＭＰＯリスクはコンサルティングサービス提供、日立は技術提供およびビジネス基盤構築、という役割を担い、３社間の連携を強化し、協創を加速していきます。

*3 Lumada：お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称。
*4 ニュースリリース(2019 年 12 月 4 日)「日立と損保ジャパン日本興亜、全国初、さいたま市で AI を活用したインフルエンザ予報サービスの実証を開始」
https://www.sompo-japan.co.jp/~/media/SJNK/files/news/2019/20191204_1.pdf
*5 ニュースリリース(2021 年 7 月 5 日)「損保ジャパン、日立、ハピネスプラネット、「女性が安心して働くことができる社会」の実現に向けた協創を開始」
https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2021/20210705_2.pdf?la=ja-JP

以上